

戦後日本外交の展開とスポーツ

池井 優

） 外交に果すスポーツの役割

- 1) 国威発揚 ナショナリズムの盛り上げ
- 2) 国家の宣伝 ベルリンオリンピック(1936)
- 3) 友好・交流の手段 米キューバ野球交流(1999)
- 4) 正当性の獲得 ソウルオリンピック(1988)
- 5) 外交の手段のひとつ 米中“ピンポン外交”(1971)

） 占領下の日本スポーツ

- 1) 武道の弾圧
 - a) 学校における武道(剣道、柔道、弓道、薙刀)の全面禁止
 - b) 大日本武徳会の解散
- 2) 外来スポーツの奨励
 - a) 軟式野球用ボールゴムの優先配給
 - b) NHKラジオ第2放送の活用
- 3) 日本水泳陣の活躍
 - a) 日本水泳選手権大会の開催(1948.8) ロンドン五輪への対抗
 - b) 全米水泳選手権大会への参加(1949.8) フジヤマのとびうお
- 4) サンフランシスコ・シールズの来日(1949.10)

） 冷戦下の日本外交とスポーツ

- 1) プロレスブーム ヒーロー力道山
- 2) オリンピック招致への動きと失敗 国際社会復帰をめざして
- 3) 日中スポーツ交流 政経分離の下で
- 4) 岸・アイゼンハワー“ゴルフ”会談(1957.6)
- 5) 東京オリンピックの開催(1964) 「フジヤマ、ゲイシャからシンカンセンの日本」
- 6) モスクワオリンピック“ボイコット”(1980) 「一番安上がりな対米協力」

) ポスト冷戦下の日本外交とスポーツ

- 1) オリンピックの変質
- 2) 野茂・イチロー・松井の活躍 「100人の大使に勝る」民間外交官
- 3) ワールドカップの日韓共同開催(2002) 日韓相互イメージの変化
- 4) WBCの開催(2006) 野球のグローバル化

) 結び

(参考文献)

- 池井 優『オリンピックの政治学』(丸善ライブラリー)(1992、丸善)
- 池井 優『一瞬に懸けたアスリートたち スポーツ名語録』(2006、清流出版)
- 池井 優「日中スポーツ交流(1956-1972)-政治とスポーツの間」(『法学研究』
58巻2号、1985、2)
-
- 波多野勝『日米野球史 メジャーを追いかけた70年』(2001、PHP研究所)
- 波多野勝『東京オリンピックへの遥かな道』(2004、草思社)
- 後藤健生『日本サッカー史 代表篇』(2001、双葉社)
- 増田 弘「武徳会パーズ」(『法学研究』73巻1号、2000、1)
-
- 久保田誠一『日本のゴルフ100年』(2004、日本経済新聞社)
- 岸 信介『岸信介回顧録 保守合同と安保改定』(1983、広済堂出版)
- 古橋廣之進『熱き水しぶきに とびうおの“航跡”』(1989、東京新聞出版局)
- 尾嶋義之『志村正順のラジオ・デイズ』(1998、洋泉社)
- ハーブ・フェーゲン、ベースボールマガジン社監訳『NOMO - 星条旗とトルネード』
(1996、ベースボールマガジン社)
- キャビー原田『太平洋のかけ橋 戦後・野球復活の裏面史』(1980、ベースボール
マガジン社)